

# 「市政への意見・提言」

貴重なご意見・ご提言をありがとうございました

## 集計の結果から

市民の皆さんの声を直接お聴きし、対話の行政をいっそう進めるため、毎年実施している「市政への意見・提言」に、今年は218人の皆さんからご意見などをいただきました。(4月～9月受付分) お寄せいただいた「意見・提言」は、すべて市長が拝見し、匿名などの場合を除き可能な限り回答いたしました。また、市民の皆さんの暮らしに根ざしたご意見、ご提言として今後の市政運営の参考といたします。

「意見・提言」は、市政全般にわたっていただき、特に道路整備や交通安全対策、福祉、医療、環境・ごみ問題など、市民生活に密着した分野の意見が数多く寄せられました。また、彦根市の行財政運営、活性化、観光、都市計画などに関する意見も多くいただきました。

## 集計結果をお知らせします

## 意見・提言の内容を 掲示します

皆さんからの「意見・提言」のうち、公開の承諾をいただきましたご意見、ご提言のなかから、広く皆さんにお知らせすべきものについて、その内容を次のとおり掲示します。

期間 12月17日(月)～同28日(金)  
※土・日曜日・祝日は除く  
場所 市役所1階ロビー

問い合わせ先 囲まちづくり推進室  
☎30-6117番、FAX22-13008番

## こんな声が寄せられました

今回寄せられた投書のなかから、皆さんのご意見・ご提言、市からの回答の概要を、一部紹介いたします。

### 問

燃やせるごみ袋やその他のごみ袋をもっと丈夫なものにしてどうか。以前のような紙袋の方が丈夫ではないか。「女性・50歳代」

### 答

現在のごみ袋は、平成14年10月に指定専用ごみ袋制度を改正してから使用いただいています。紙製の場合は、単価が高いこと、また中身が見えないこともあり、燃やせるごみ以外のごみ(空き缶、空きびんなど)が混入しているなど、焼却に支障をきたす状況にありました。そのため、現在の炭酸カルシウム入りポリエチレン製袋に変更した経緯があります。また、「陶器類その他のごみ」の指定専用袋の素材は、低密度ポリエチレンを使用し、ほかの指定袋と比べて若干厚くしていることから通常の使用には耐えられます。



実施期間	通 年
実施方法	▶「広報ひこね」7月1日号に印刷して各戸配布 ▶彦根市ホームページから電子メールで受付
投書件数	231件
内容別件数 (彦根市総合発展計画「ひこね21世紀創造プラン」の5つの柱ごとの集計)	
▶人権が尊重され、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり	…27件 (11.7%)
*福祉関係	15件
*健康管理	2件
*医療	10件
▶良好な環境が整った、快適で安全・安心なまちづくり	…34件 (14.7%)
*環境保全・リサイクル	17件
*公園・緑地	5件
*交通安全対策	4件
*都市景観	3件
*廃棄物対策	1件
▶活力ある産業に満ちた、にぎわいあふれるまちづくり	…63件 (27.3%)
*道路整備	31件
*土地利用	6件
*商工・観光	16件
*農林水産業	2件
*公共交通	7件
*雇用促進・企業誘致	1件
▶明日の彦根市を担う人を育むまちづくり	…20件 (8.6%)
*生涯学習	12件
*青少年育成	1件
*学校教育	7件
▶人とひととの交流をひろげ、市民文化を創造するまちづくり	…6件 (2.6%)
*歴史文化資産の保存・活用	3件
*スポーツの振興	2件
*国際交流の促進	1件
▶その他	…81件 (35.1%)
*行財政運営	80件
*広域連携	1件

### 問

今年の夏、市役所ロビーで行われた原爆の絵・資料とビデオの展示会に行ったが、平日のデータタイムのみでは、見に行ける人が限られてしまっているのか。大型ショッピングセンターの一角などで、大型ディスプレイを使ったビデオ展示会を開催してはどうか。また、有料で映写会をしてはどうか。「男性50歳代」

### 答

原爆についての展示会は、今回で28回目です。これまでアル・プラザ彦根やビバシティ彦根などさまざまな場所で行ってきましたが、ここ数年は、市役所1階ロビーで開催しています。一人でも多くの人に見ていただき関心を持っていただくために、来年度は、市役所のほか、市立図書館などでのビデオ上映もを行います。ただし、大型ディスプレイでの上映や有料の映写会は、場所の確保や料金設定などの問題もありませんので、すぐにはできませんが、工夫しながら進めていきます。

### 問

市立図書館は時代に合わせて変わるべきではないか。人気のある本や、興味のある雑誌が少なく、型ごりの本ばかりでつまらない。薄暗く、ほこりっぽい館内なので、本の提供というより場所の提供というイメージが強い。「女性・30歳代」

### 答

当館は昭和54年に建築されました。建築されてから28年が経過し、設備などの老朽化も進んでいます。開架図書はほとんど50～8年未満のもので、それ以上経過した図書に

ついては、順次2、3階の書庫に移し保管しています。ただし、各分野の基本的な図書、資料としての価値を失わない図書、また、既に絶版になっているものなどについては一部古い図書も開架しています。

なお、図書館では、新規図書の購入リクエストや貸出中の資料の予約を受けています。また、希望の資料を県内の公共の図書館から借用することもできます。館内での読書環境については、今後改善に向けてできるだけ努力していきます。

### 問

彦根市の改名された町名を由緒ある旧町名に戻してはどうか。彦根が城下町としての発展を望むのであれば、町名を改名したことは大変残念で、間違っているのではないかと。旧町名は城下町としての証拠であり誇りである。「女性・60歳以上」

### 答

現在の町名に変更した住居表示事業については、かつての市街地においては、土地の地番が入り組み、住居(住所)がわかりにくくなっていったことや、町の世帯数や大きさの規模にも不均衡があったことなどから、本市では昭和37年に施行された「住居表示に関する法律」に基づき、昭和39年に審議会を設置し、学識経験者や地元のご意見を伺うなかで検討を重ねて、今日の整然とした姿に至った経緯があります。住居表示事業から40年近くが経過し、現在の町名や町割はすでに定着していますが、ご意見のよう「旧町名の復活」を望まれる声もあります。

しかしながら、旧町名の復活は、社会的・経済的な影響力を伴うことから、少なくとも、そこに住んでいる市民の皆さんに大きな負担を強いることになりま

す。例えば、運転免許証、所有権登記関係などの住所変更の必要性が生じることや、町割の変更に伴う自治会の再編成や学区の変更もあり得ます。また、旧町名の復活は、対象地域の人々の総意が前提となることはもちろんですが、彦根市において、住民票や戸籍、土地台帳などの各種帳票・台帳の変更に必要な作業と経費の負担が伴います。こういったことから、極めて難しいと考えています。しかし、本市の歴史を後世に伝えていくうえで、落政時代の町名の由来などを知ることには大変意義のあることであり、これまで、旧町名については、表示板の設置や「彦根市文化財マップ」などでの紹介を行っており、今後もこのような取組を継続していきます。

### 問

バイオディーゼル燃料(BDDF)は普通のディーゼル燃料より値段が高く、彦根市の厳しい財政では導入するのは困難かもしれないが、未来の子どものためにきれいな空気環境を残すためバスの燃料にバイオディーゼル燃料を使っているのか。「男性・20歳代」

### 答

彦根市では、一部の地域で回収した廃食用油について、民間事業者がBDDFへの転換処理を委託しています。今年度からは、その有効利用を図るため、ごみの収集車両2台でBDDFを燃料とした試行運転を開始しました。さらに、市域での廃食用油の回

収の拡大と併せて、ほかの車両への利用についても今後検討していきます。

### 問

保育園に通う子どもの急な体調不良によるお迎えには、いつも頭を悩ましています。核家族で夫婦共働きのため、そう簡単に仕事を休むことができない。子どものために仕事を休むことは大切だが、普段から保育園の行事のため休んでいることもあり、急なお迎えはとても厳しく、職場との板挟み状態である。早急に病児保育所を設置して働くパパ・ママを助けてほしい。「女性・30歳代」

### 答

病気中および回復期での保育園児の一時保育の必要性については、は、じゅっぶん認識しています。平成17年3月に策定した次世代育成支援行動計画においても平成21年度までに「病後児保育所」の設置を目標としています。

しかしながら、こうした保育には医療との連携が必要不可欠なこと、また感染予防に配慮した施設整備や専任の看護師・保育士の配置など人的な課題もあり、開設に至っていないのが現状です。病後児保育については、国の新たな取組(病後児保育に対する環境基準等の見直し)も検討されており、その内容を踏まえて、関係者と連携を図りながら保育環境の充実に向けて取り組んでいきます。

